

所属	串本町商工会
氏名	

企業カルテ

担当経営指導員

フリガナ 企業名	(申請回数 回)			フリガナ 代表者名	 ()歳
住 所	〒			面談者	(代表者又は担当者職氏名)
創 業	年 月	TEL	(0735)	URL	
資本金	万円	FAX	(0735)	e-mail	
業 種			各種認証取得 認定、資格等		
従業員数	人(内パート 人)				
後継者の有無	有 ・ 無		県承認、認定	1. 経営革新承認 2. その他認定 3.なし	

直近3期(新←旧)	／	／	／
売上高	万円	万円	万円
営業利益	万円	万円	万円
当期利益	万円	万円	万円

当社(製品・サービス)の特徴(強味等) (競合他社、競合製品・サービスとの比較等)

当社の主な経営課題について(○を付けてください。最大2つまで)

1. 新分野への取組 2. 新技術・新商品開発 3. 国際化への対応 4. 経営管理の見直し
5. 人材の確保・育成 6. 販路・市場開拓 7. 資金調達の円滑化 8. 事業の再構築
9. 外部経営資源の活用 10. その他()

主要取引扱製品	比率(%)	主要販売先(所在地)	比率(%)
計	100%	計	100%

平成26年12月改定

※太字は記入しないでください。

(企業番号)
附属資料(有・無)
令和 年 月 日

当社の経営課題について(具体的内容)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

今後の取組について(当面・将来の計画)

■当面

.....

.....

■将来

.....

.....

経営指導員の意見(予想される効果及び経営者について)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

その他特記事項 (国・県・財団その他支援機関事業採択歴あれば)

.....

.....

.....

.....

企業プロデュース活用、エキスパートバンク活用」のどちらかにチェックをお願いします

・企業プロデュース活用 ☐

・エキスパートバンク活用 ☐

(財団担当者)

企業カルテ[記入例]

所属	*****商工会
氏名	*****

担当経営指導員

フリガナ 企業名	キシユウコウギョウ 紀州工業株式会社 (申請回数 2回)	フリガナ 代表者名	キシユウ イチロウ 紀州 一郎 (58)歳		
住 所	〒640-8033 和歌山市本町二丁目1番地	面談者	(代表者又は担当者職氏名) 紀州太郎(後継者)		
創 業	昭和41年 1月	TEL	(073)-432-3227	URL	http://www.yarukiouendan.jp
資本金	1, 000万円	FAX	(073)-432-3314	e-mail	info@yarukiouendan.jp
業 種	一般機械器具製造業	各種認証取得 認定、資格等	ISO9001:2000、機械・プラント製図一級技能士		
従業員数	12人(内パート 4人)				
後継者の有無	有 ・ 無	県承認、認定	1. 経営革新承認 2. <u>その他認定</u> 3. なし		

直近3期(新←旧)	26/3	25/3	24/3
売上高	19, 000万円	17, 000万円	16, 000万円
営業利益	900万円	800万円	800万円
当期利益	500万円	450万円	400万円

数字でご記入ください

当社(製品・サービス)の特徴(特長等) (競合他社、競合製品・サービスとの比較等)

当社は、機械部品の受注生産を主に事業展開を進めながら、農産物の周辺機器の開発、製作
しています。また、生ゴミ処理機の開発を行っています。

特に、生ゴミ処理機については、分解が難しいとされる地元特産品のみかんの処理技術に優れ、
同業他社では完全に分解することが困難であったものを、当社は低コストで短期間に完全に分解
することができます。

最大2つまで○を付けてくだ
さい

- 当社の主な経営課題について(○を付けてください。最大2つまで)
1. 新分野への取組 2. 新技術・新商品開発 3. 国際化への対応 4. 経営管理の見直し
5. 人材の確保・育成 6. 販路・市場開拓 7. 資金調達の円滑化 8. 事業の再構築
9. 外部経営資源の活用 10. その他()

主要取引取扱製品	比率(%)	主要販売先(所在地)	比率(%)
工作機械部品	90%	A製作所(大阪府)	60%
その他	10%	B精機(京都市)	30%
		その他	10%
計	100%	計	100%

平成26年12改定

※太字は記入しないでください。
(企業番号)
附属資料(有・無)
令和 年 月 日

具体的にご記入ください

当社の経営課題について(具体的内容)

当社の売上の大半となっている部品加工の受注生産は、中国等の台頭もあり一層のコスト削減を求められており、企業体質の改善が急務である。

そのため部品加工が主体ではあるが、自社製品の開発に注力し特定分野の処理能力に優れた生ゴミ処理機の開発には成功している。しかしながら、現在、試作段階であり、専従できる従業員の確保も出来ず製品として市場に提供する体制が整っていない。

具体的にご記入ください

今後の取組について(当面・将来の計画)

(当面) 試作段階ではあるが、特定分野の処理能力について他社製品より処理能力が優れているもののゴミ処理機のマーケットは新規参入であり状況が判らない。そのためには、市場調査及びターゲットの絞り込み、一層の製品の安定化と効率化の向上を図っていく。

(将来) 生ゴミ処理機の処理種類を広げ、最終の堆肥販売も手がけて行きたい。

経営指導員の意見(予想される効果及び経営者について)

現在の状況は、企業体質が脆弱であるものの技術力があり、先行きを見据えた事業運営に取り組んでいる。自社製品開発にしても、地元産業に密着した中でメーカーとしての自立と可能性をさぐり、身の丈にあった開発を行っており潜在能力は高い。

経営者の努力と情熱は強く、支援することにより業績等が向上する可能性は強いと思われる。

その他特記事項 (国・県・財団その他支援機関事業採択歴あれば)

・ものづくり基盤技術の高度化に関する法律に基づく特定研究開発等計画認定

・平成20年度1社1元気技術企業登録

認定を受けた事業名を
ご記入ください。

・平成22年度わかやま中小企業元気ファンド助成事業採択

企業プロデュース活用、エキスパートバンク活用」のどちらかにチェックをお願いします

・企業プロデュース活用 ☐

・エキスパートバンク活用 ☐ (財団担当者)